

# おともがわ

学校報 NO, 39

保護者版

平成27年12月25日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力



## 12月16日(水) 古本市

〇〇先生が企画してくれた長期休業前の恒例?となる「古本市(古くなって廃棄処分する本を有効活用しようとして行っているもので、一人2冊までもらえる催し物です)」が行われ、たくさん子どもたちが図書室を訪れ(左写真)、自分の気に入った本を譲り受けて大満足の様子でした。冬休み中もたくさん本を読んでほしいと思います。



## 18・21・22日 大清掃


師走のこの時期に普段手をかけられずにいる所も、縦割り班の活動を生かしながら掃除をしました。いつも以上に真剣に取り組んでいる子どもたちをみていて、昨年末にお話しした「心を磨く光る汗」を思い出してしまいました。汗して働く姿っていいですね。是非、「歳神様」をお家に迎えるための年末の大掃除では、子どもたちの力を借りて、共に光る汗を流してみてください。



## パフォーマンス集会

22日の3校時に3・5年生は有志他学年は全員でコマや剣玉、一輪車やマット運動、リコーダーやピアノ、合奏・合唱、九九暗唱、お笑い、泥鰌掬い、縄跳び・大縄跳びなどたくさんのパフォーマーが熱演で楽しい一時を過ごしました。これからも失敗を恐れずいろんなことに挑戦してほしいとお話ししました。

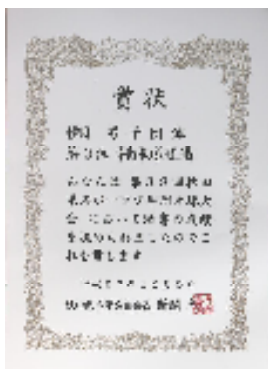


【夏休み同様、何か困ったこと疑問に思うこと相談事などがあった場合、連絡して下さい。】  


- ・校長(〇〇 〇)→自宅電話 携帯電話
- ・教頭(〇〇 〇)→同 同

※ 今日、裏面に紹介したものも含め各種賞状伝達を行いました。また、今日の集会でお話ししたような内容文を記載しました。一読願います。

# 各種表彰紹介



## 第38回秋田県スポーツ少年団卓球大会

(学校報NO.36で紹介した大会です。昨日報告を受けました)

男子団体 第3位 県南卓球道場  
(4年〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 他2名)



## 歯の衛生に関する

## 図画・ポスター・標語コンクール

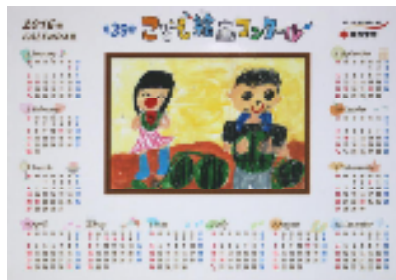
たくさんの1年生が図画・ポスターの部で「入選」し代表で〇〇〇さんに伝達しました。



## 第39回こども絵画コンクール

住友生命主催の標記コンクールに応募し、1年生の2名が自作の絵画入りカレンダーを頂きました。

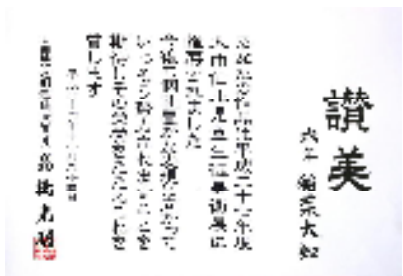
〇〇〇〇(だいすき, ママ)  
〇〇〇〇(おじいちゃん おいしいすいかをありがとう)



## 大曲仙北児童生徒美術展

〇〇〇〇, 〇〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 〇〇〇〇(1年) 〇〇〇〇, 〇〇〇〇(2年) 〇〇〇〇, 〇〇〇〇(3年) 〇〇〇〇〇〇(4年) 〇〇〇〇, 〇〇〇〇(5年) 〇〇〇〇〇〇〇(6年)

以上14名が標記美術展に推薦されました。14名を代表して、6年生の〇〇〇〇さんに伝達しました。



## 冬至とカボチャ ～先人の知恵に学ぶ～

皆さん、おはようございます。……。

さて、いよいよ明日から冬休みですね。どのような休みにしたいと考えていますか？

ところで、3日前の12月22日は何の日かわかりますか。冬至ですね。冬至は、日本の1年間で夜が1番長い日です。ですから、昼が1番短い日とも言えます。これまでどんどん夕暮れが早くなってきていましたから、冬至が過ぎたこれからは、少しずつ昼の長さは長くなっていくわけです。

では、これは何だかわかりますか。そうですね。これはカボチャです。ごつごつしてとても硬いカボチャですが、料理して食べるととても甘くておいしい野菜です。天ぷらや煮物もおいしいですが、スープやパンプキンパイなど洋食やお菓子などいろいろな料理に使われています。このカボチャは冬至のころに食べると風邪をひかないと昔から言い伝えられていました。今は冷蔵庫があり、1年中どの季節の野菜でも食べることができますが、昔は野菜を長い間保存しておくことは大変難しく冬に食べられる野菜は限られていました。実はカボチャは夏の暑い時期に作られますが、長い期間保存しても栄養が失われにくいので、冬まで大切に保存しておいて食べたのだそうです。昔の人の素晴らしい知恵があったんですね。

このほかにも冬至には、「ゆず湯」に入るといふ風習も伝わっています。これもゆずの良い香りで気持ちよくお風呂に入っていると体を温め風邪をひきにくくしてくれるといえます。

このように昔の人は食材にカボチャを取り入れたり、生活の中にゆずを取り入れたりして楽しむとともに、寒さを乗り切るための工夫をしながら生きてきました。また、1月7日に食べるとされているお正月で疲れた胃に優しい七草がゆも先人の知恵ですね。寒い寒いと縮こまっていけないで、楽しく、おいしく、そして元気に生活していくためにも昔の知恵を学んだり、新しい工夫をしたりして寒さを乗り切るとともに、来年一年間の計画を立てて夢に向かえる冬休みにしてほしいものです。